

長かった夏休みも、残すところ10日あまりとなりました。今年の夏は、今までに体験したことがないような暑さが続いています。元気に始業式が迎えられるように、熱中症の予防や体調管理に注意をして、残りの夏休みを過ごしてほしいです。今回は、夏休み中の行事を中心に子どもたちの様子をお伝えします。

【交通少年団集合訓練】 7月26日(木)

県内の各警察署管内にある交通少年団が、豊田スタジアムに集まって集合訓練を実施しました。東小学校の交通少年団も、愛知警察署管内の代表として26名の子どもたちが参加しました。集合訓練は、参加・体験・実践型の交通安全教室です。午前中に1講座(反射材と子ども免許証の作成)、午後に3講座(①自転車の安全走行訓練、②車の死角体験・シートベルトの効果体験、③自転車の交通ルール・点検の仕方)について学習しました。集合訓練で学んだことを、分団や学級の仲間に伝え、交通安全についての意識をさらに高めていってほしいと願っています。



反射材の見え方実験



車の死角体験



自転車の安全走行訓練



シートベルトの効果体験



集合訓練に参加した交通少年団

【6年生 着衣泳】 7月27日(金)

6年生が水泳指導の最終日に、着衣泳体験を

実施しました。長袖・長ズボン・靴を着用して行いました。はじめに、服を着たまま歩いたり、泳いだりしました。服が水を吸うととても重くなることや、服が体にまとわりついて泳ぎにくくなることを体験しました。また、ペットボトルを抱えて浮く体験では、1本のペットボトルの浮力があることで、体が浮きやすくなるということを実感しました。万が一の際には、一人一人が今回の体験を生かして、自分の命を守ってほしいです。



服を着たまま泳ぐ体験



ペットボトルで浮く体験

【5年生 野外活動】

7月30日(月)～8月1日(水)

5年生が、30日(月)～1日(水)の3日間、長野県木祖村のこだまの森で野外活動を行いました。直前に台風12号が通過して実施が心配されましたが、野外活動中は天候にも恵まれ予定通り活動を進めることができました。厳しい暑さが続く日進市に比べ、木祖村の日中の気温は32℃くらいで木陰に入ると涼しさも感じました。そんな中、水木沢天然林の散策、キャンプファイヤーや野外炊飯、イワナつかみやバードコール作りなど、自然の中でしか体験できないことを満喫しました。5年生全員の力を合わせ成功させた野外活動は、「忘れない思い出を この自然の中で仲間とともに」のスローガンの通り、仲間との絆をより深め思い出に残る3日間になったと思います。これからの5年生の子どもたちの成長がますます楽しみです。



水木沢天然林散策



イワナつかみ



野外炊飯



バードコール作り